

4月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

# 113,127円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

|                    |          |
|--------------------|----------|
| 印刷代(月刊武松印刷代)       | 20,950円  |
| 交通費(駐車場、燃料代、高速代)   | 13,662円  |
| 会場費                | 2,500円   |
| 通信費(携帯電話代、折込代)     | 76,015円  |
| 支出計 18/4/1~18/4/30 | 113,127円 |

## 市政を考える 月刊武松

発行日  
18/5/1

### 第172号

22800部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)  
武松政策研究会

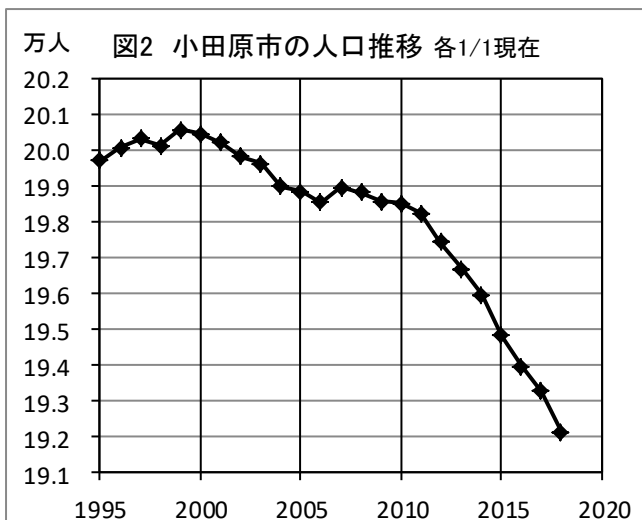
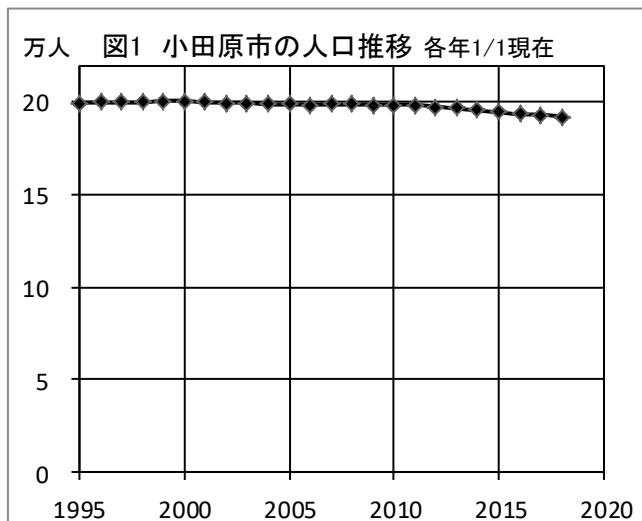
# 人口が19万1325人に

## 前年同月比1531人減。その要因を探る。

4月1日の小田原市の人口が191,325人、前年同月比1531人減となりました。人口減少の原因として、少子高齢化や企業の移転等様々な要因が考えられますが、データを整理してみます。

### ■総人口の推移

まず、図1・図2に総人口の推移を示します。



2011年以降、横ばいから減少に転じました。

月刊武松 第172号

両図とも同じデータなのですが、縦軸の原点を0にした図1より、全体的な人口の推移が横ばいから微減に転じたと見る事ができます。

図2は縦軸の変位に合わせ拡大したもので、微小変化の特徴を見ることができます。これより、2010年を変曲点として、2011年以降直線的に人口減少していると見る事ができます。

人口減少で大変だと印象付けたい場合は、図2のようなグラフの示し方をします。

特に我々議員は、図1、図2の両方の見方で認識することが大事です。

次に図3に出生数死亡数の推移を示します。

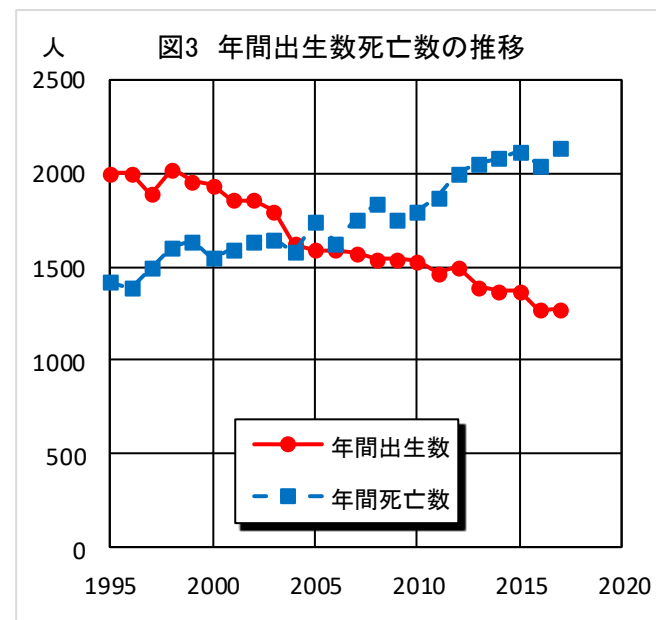


図3より、年間出生数が、2011年以降1500人を割り、さらに減少傾向にあることに加え、年間死亡者数が2012年以降2000人を超えています。

人口統計上は、出生数が死亡数を下回ると自然減といいますが、2017年は、861人の自然減となっています。一方、1996年には614人の自然増となっていました。

裏面に続く

武松政策研究会 討議資料

# 自然増減社会増減の推移

次は社会増減について見てみます。

小田原市から他市区町村へ引っ越す⇒転出  
小田原市へ他市区町村から引っ越す⇒転入  
転入数<転出数 = 社会減

年間の転入数転出数の推移は特徴的なところが見られなかったため図は省略しますが、ともに6500～8000人の間でばらついていました。

図4に自然増減と社会増減の推移を示します。

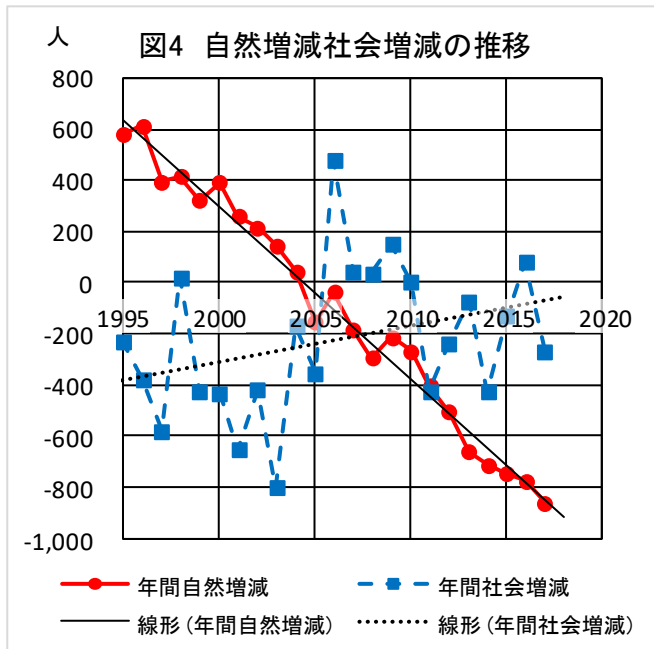


図4より、自然増減は直線的に自然減となっていることがわかります。その線形近似で年間67人ずつ自然減が拡大しており、団塊世代の高齢化に伴う死亡増により、当面自然減が続くと見られます。

社会増減は、年毎にばらつきが大きいものの、線形近似では改善傾向にあります。

次に、年齢5歳区分・男女別人口について1995年(図5)と2017年(図6)を比較してみます。

これより、65-69歳人口が増え、14歳以下の人口減が顕著となっています。小田原は、温暖で歴史

図5 年齢(5歳区分)・男女別人口 (1995)  
(平成7年1月1日現在)

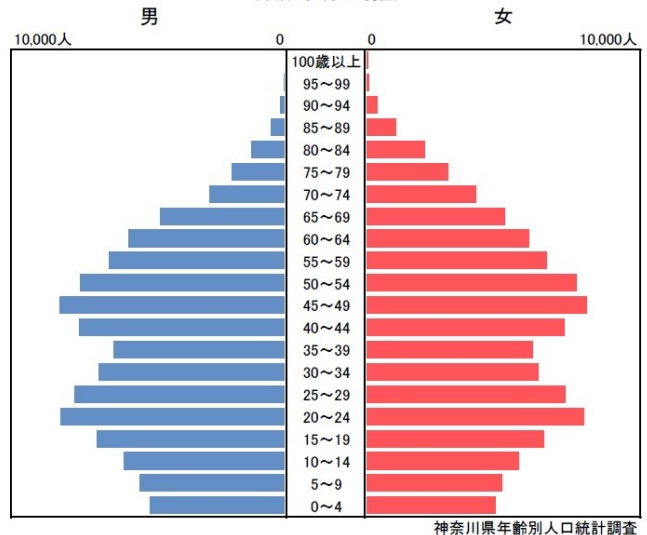
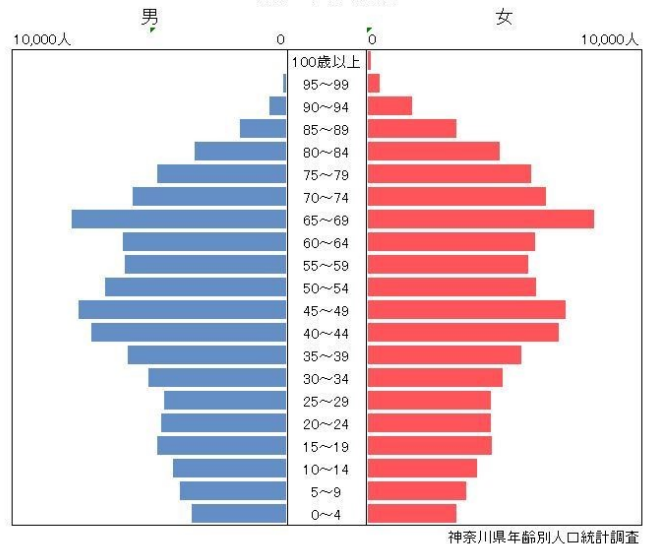


図6 年齢(5歳区分)・男女別人口 (2017)  
(平成29年1月1日現在)



もあり、定年後に転入される方が多いようです。

今後、空家等の対策、14歳以下の人口減に伴う市立保育園、幼稚園や小学校の統廃合など具体的に想定していかなければなりません。

## 武松政策研究会からのお知らせ

### 5月の個人議会報告会について

日時場所 5/26(土) 18:00～ おだわら市民交流センターUMECO 会議室8

テーマ 「人口減少を考える」 参加費 100円

終了後 懇親会を行います。

折込地域の拡大 4月より鴨宮・上府中地区にも新聞折込しています。



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ  
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで